

令和8年度第1回運営推進会議議事録

日 時： 令和8年5月28日（木） 15:00～16:15

会 場： グループホーム萌 レクリエーション室

出 席 者：

利用者家族	1名	斐川あんしん支援センター	1名
地域住民の代表	6名	利用者様	2名
欠席	2名	その他（代表・ホーム長・職員）	5名

令和8年度 第1回 運営推進会議の開催

- グループホーム萌の令和8年度第1回運営推進会議を開催。
- 司会は代表の 代表（書記はホーム長）。

運営推進会議の目的

- 地域の皆様に施設の取り組みや活動を知ってもらう。
- グループホームでは2ヶ月に1回の運営推進会議が義務付け。
- 目的の要点：
 - 地域と施設をつなぐ場の提供（施設内の活動の可視化）。
 - 活動や課題の報告と意見収集を通じた改善。
 - 地域全体で支える介護（顔の見える関係づくり）。
- これらを実現するため、11名の推進委員の協力が重要と共有。

推進委員の自己紹介と抱負

- 各委員が自己紹介と抱負を共有。

施設・事業紹介（グループホーム萌 /MOE）

- 認知症グループホームの概要：
 - 少人数制、家庭的環境、地域とのつながりを重視。
 - 役割づくり（洗濯・料理等）で心身活性化、進行の緩和を目指す。
- グループホーム「萌」紹介：
 - 2004年開所、23年目。
 - 特徴：湯の川温泉の風呂、畑・田んぼでの農作業参加、協議会表彰、Instagramで活動発信。
 - 職員：15名、平均年齢45.6歳。介護福祉士保有率65%
 - 利用者：現在は女性が多い。最長入居6年。

- ・ 利用条件：
 - 介護保険の利用対象者、主治医から認知症の診断を受けた方。

今年度の目標：「人が育ち、みんなが誇れる施設へ」

- ・ 利用者が「ここで暮らせてよかった」と感じる安心・安全と楽しさの提供。
- ・ 日常の取り組みや学びを推進会議・地域勉強会で発信。
- ・ ボランティアを深め、地域で認知症を支える輪を拡大。
- ・ 具体計画：6月にパン教室、小中学生への出前講座、地域勉強会を予定。

認知症ケアの5つの視点（5枚の花びら）

- ・ 実践している視点：
 - 自分らしさ：過去の経験や得意を尊重（花見、母の日など）。
 - 結びつき：家族・友人との関係（道の駅でのお茶会等）。
 - 携わること：田植えや収穫など役割参加。
 - 共にあること：買い物・地域祭りへの参加で社会的つながりを維持。

研修1：おむつの適切な当て方

- ・ 目的：利用者の快適性と漏れ・皮膚トラブルの予防。尊厳を守るケアの徹底。
- ・ 種類の使い分け：
 - テープ型（寝たきり向け）、パンツ型（自立度高めに主流）、尿とりパッド（内側使用で経済性）。
- ・ 手順・ポイント：
 - 準備、声かけ、体位交換、清拭、新下着交換、苦痛確認。
 - 漏れ防止：ギャザーを立てる、テープは下から上、中心合わせ。
 - プライバシー配慮：カーテンやタオルで露出を防ぐ。
- ・ 実演と体験：
 - 職員が説明と利用者役。青色水で漏れ確認し問題なし。
 - 参加者（運営推進委員）が人形で体験。声かけは丁寧も、パッド密着不足で背面漏れを確認。
 - 感想：実人では動きがあるため一層難度が高い。

研修2：防災・BCP 机上訓練

- ・ テーマ：「地域で支える防災、地震後の初動を考える」。
- ・ 目的：人命確保、重要業務継続、被害最小化。自宅備えの見直しと地域協力の重要性体感。
- ・ ワーク：16の行動事例を「発生前/揺れの最中/発生後/不適切」に分類。目標は家具・ガラス・余震による怪我ゼロ、閉じ込め迅速対応。
- ・ 確認事項：
 - EV閉じ込め救出は地震後に実施。
 - 余震下でのマニュアル確認は「範囲外」と判断（安全確保優先）。
 - 全職員がマニュアルを理解し行動統一を図る必要性を再確認。
 - 非常食・備蓄の整備重要性、応急手当の重要性（救急車遅延想定）、救急用品の常備必要（消毒薬、絆創膏、テープ等）。
 - 認知症入居者の避難説明の難しさ（1/6地震時の事例共有）。

非常食の試食

- ・ 保存5年の非常食「煮込みハンバーグ」を試食。常温・非加熱で可食、
- ・ 感想：美味しいとの評価。価格への賛否があり、備蓄の費用対効果を検討課題として認識。

本日の振り返りと次回案内

- ・ 本日の主題：運営推進会議の目的確認、施設・ケア紹介、認知症ケアの視点、排泄ケア研修、防災・BCP 訓練、非常食試食、デザート紹介。
- ・ 初参加者からは「研修会のように学べてよかった」との感想。
- ・ 次回会議は午後3時開始予定。参加者にアンケート協力を依頼。

アンケートより (N=9)

1. 介護全体の内容はわかりやすかったですか？

とてもそう思う 9名

2. 萌の取り組みは理解できましたか？

とてもそう思う 9名

3. 職員の説明や雰囲気から「安心・信頼できる施設」だと感じましたか？

とてもそう思う 9名

4. 今後も地域の一員として、この施設に関わりたいと思いましたか？

とてもそう思う 9名

5. 地域に開かれた施設としての姿勢に共感できましたか？

とてもそう思う 9名